ウッドスタート宣言から１年

もくいく 木育の輪を広げよう

●農林課林務係　TEL23-1142

センザキッチンで木のおもちゃとふれあう

10月7日(土)～9日(月)、センザキッチンのシーサイドデッキに木育ブースを設置。子どもたちは、おもちゃ学芸員と一緒に楽しく遊びました。

県内初の「ウッドスタート宣言」から1年。子育てに木を取り入れた「木育」を推進する本市では、木にふれる活動の輪を広げています。平成30年4月、センザキッチンに併設する「木育推進拠点施設」のオープンに向けた準備が進む今、本市の「木育」の取組を紹介します。

木育ってなあに？

木育は、子どもをはじめとするすべての人が木とふれあい、木に学び、木と生きる取組です。人と、木や森の関わりを考えられる豊かな心を育もうとするもので、次の「か・き・く・け・こ」が目的となっています。

か＝環境を守る
き＝木の文化を伝える
く＝暮らしに木を取り入れる
け＝経済を活性化させる
こ＝子どもの心を豊かにする

これまでの取組

平成28年11月22日、市ではNPO法人「人と木」・東京おもちゃ美術館と3者で県内初の「ウッドスタート宣言」を行い、木育の推進を誓いました。

▲3者でウッドスタート宣言

誕生祝い品の贈呈

平成28年4月から、本市で育った木を使用し、地元の職人が作ったおもちゃ「くじらの親子」を新生児に贈呈しています。

▲くじらの親子をプレゼント

贈呈を受けるには申請が必要です。詳細は対象者に順次送付する案内で確認してください。

木育キャラバン・木育円卓会議の開催

ウッドスタート宣言を行った平成28年11月22日と翌23日は、親子でたくさんのおもちゃを楽しめる移動式東京おもちゃ美術館「木育キャラバン」を県内初開催。また、本市に合った木材産業の発展の方法を、林業や子育て支援の関係者と協議する木育円卓会議も行われました。

▲林業や子育て支援の関係者が出席

木育のこれから

木育推進拠点施設のオープンに向けて

東京おもちゃ美術館監修のもと、センザキッチンに併設して整備される木育推進拠点施設は、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる体験型ミュージアムです。

4月に予定されているオープンを前に、2月には第3期となる「おもちゃ学芸員養成講座」の開催が決定。1期・2期と合わせて100人以上のボランティアスタッフの養成を目標に、参加者を募集しています。

■申し込み・問い合わせ
NPO法人　人と木
（おもちゃ学芸員養成講座担当）
TEL・FAX 26-0439

市の森林で育った木材で作ったおもちゃで遊ぶことが、木のある暮らし・子育ての第一歩となります。まずは木を生活に取り入れ、木の温もりにふれることから始め、これからも「木育」の輪を広げていきましょう。

「おもちゃ学芸員」養成講座

平成29年度は、翌年4月にオープンが予定されている「木育推進拠点施設」で来場者におもちゃの魅力を伝え、多世代交流の架け橋となるボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」の養成講座を開催しました。

第1期（6月）は30人、第2期（10月）は45人が参加。東京おもちゃ美術館のスタッフから、おもちゃの遊び方や年齢に応じた選び方、日本の伝承遊びの大切さなどを学びました。

2日間の講座を終え、おもちゃ学芸員の認定証を受け取った参加者は「座学だけでなく、遊びの中で楽しく学ぶことができた」と振り返っていました。

▲さまざまなおもちゃの遊び方を楽しく学ぶ

出張木育授業

今年6月からは、木育推進拠点施設で使用する「木のたまご」を作るワークショップを行い、さまざまな地域のイベント会場にブースを設置。子どもから大人まで、サンドペーパーで夢中になってたまごを磨き、滑らかな肌触りを楽しみました。

9月からは市内の各小・中学校でもワークショップが行われ、児童・生徒たちの手でたまご作りが進められています。

1万個を目標に制作されるこのたまごは、施設内の「木のたまごプール」として活用される予定で、今後も目標に向けて、市内各所で体験ができるよう取り組んでいきます。

▲夢中になってたまごを磨く子どもたち

今年もおもちゃ美術館が長門市にやってくる！

第2回 木育キャラバン inながと

木の温もりにふれ、親子で楽しむ2日間。

日時　11月25日（土）10：00～16：00
11月26日（日）10：00～16：00

場所　ルネッサながとアリーナ（ながと総合体育館）

内容
木育キャラバンブース
約300点の木のおもちゃで遊べるスペース
ワークショップ・物販ブース
県内の木工作家や木工グループのワークショップ・物販
飲食ブース
うどんやカレーなどの屋外飲食ブース

●問い合わせ　NPO法人 人と木　TEL 080-2939-2668